

市政を問う

市民の声を!



今回は21名の議員が質問しました。(質問者順)

「後期高齢者医療制度の啓蒙」と「不妊治療費助成の創設」について

松本軍二議員



中野市民部長 少子化対策事業に不妊治療費助成の創設を含め、十分検討したい。

議員 後期高齢者医療制度は、現行の医療制度から切り離し、七十五歳以上の高齢者を対象

象に独立した医療制度で来年四月一日にスタートするが、手続きなどの方法は、**中野市民部長** 手続きの必要はないが、一定の障害者である六十五歳以上の方は申請が必要である。四月一日で被保険者となる方には

市民の声を市政へ。意見箱と夜の市長室の意見・相談について

白石昌利議員



吉村総務部長 その内容を検討して、改善されるよう対処している。

議員 神崎市は、財政が厳しい中での船出となっている。市職員には、パワーと創造力を発揮して、神崎市民のため、心をひとつにして頑張ってもらいたい。今すぐにも出来る住民サービスの取組み状況と、対応について。
吉村総務部長 市職員の対応マニュアル冊子を作成して全職員に配布し、市民の立場に立った対応をさせている。
議員 総合支所では、住民への業務対応が完結出来ているのか。
総務部長 基本的には、その機能を支所に持たせているが、場合によっては、本庁職員が支所に向く対応も必要と思っている。
議員 住民の要望・陳情の回答について。
総務部長 原則として、市長の決裁を受け、文書で回答をしている。
議員 夜の市長室を千

代田、脊振支所で開催できないか。

市長 各地区で要望があれば、各支所を回りたいと思う。

議員 副市長に、各地域・支所で住民や職員の声を聞いて頂きたい。
船津副市長 意見を聞く場を、増やしていくよう頑張っていきたい。

(仮称)千代田保育園の建設について

議員 地元業者への関連発注状況について。

野口建設部長 保育園建設業者に、各業種を伴う協力業者について、地元業者採用の要請を行っている。

小・中学校の公衆電話の撤廃について

議員 学校内にある公衆電話は、子供たちが必要に応じ保護者にする連絡のほか、緊急時使用する唯一の連絡手

段である。是非とも公衆電話の維持をお願いしたい。

塩井学校教育課長 市内の小・中学校において、NTTより公衆電話の撤廃が予定されている。NTTには、公衆電話の維持について、継続的にお願いをする。
市長 小・中学校の公衆電話維持については、市長会でNTTに維持の要請をすることが決定している。



市内小・中学校の公衆電話

三月末までに被保険者証が送付される。

議員 保険料は、どうやって納めるのか。

市民部長 年額十八万円以上の年金受給者は、年金から天引されるが、介護保険料と合算した額が年金額の半分を超える場合は天引されず、納付書による徴収方法となる。

議員 制度に対する理解不足、不安を持った市民も多いと思うが『円滑な制度導入に向けて』啓蒙する施策は。

市民部長 市報やチラシでの広報、老人クラブなど会合時の要請により説明会の実施を考えている。

不妊治療費助成の創設について

議員 少子化対策として各種事業を実施しているが、出生前の取組事業は『無』である。少子化社会を考える懇話会では、少子化対策として不妊治療への支援を重要な検討課題と位置付けられた。本市における実態は。

市民部長 不妊治療相談についてはプライバシー等の関係もあり相談者の把握はできていないが、県の助成を受けたご夫婦は全体で二百四十六組、神崎市内在住は十組である。

議員 不妊治療には、保険適用外が多く高額であり繰返す場合が多い。精神的負担に加え経済的にも大きな負担となっている。財政上厳しいが不妊治療費助成の創設の考えはないのか。

市民部長 不妊治療を受診される方への、経済的負担の軽減・精神的苦痛を察すると、市の財政が厳しい状況下ではあるが、少子化対策事業に不妊治療費助成の創設を含め、十分検討したい。

平坦地の緑づくりの考えは

原 口 ひさよ 議員

牟田産業部長 当市における緑化の基本計画の作成に努める。



浄化槽推進について

議員 神崎市は、水と緑の豊かな環境にあるが、水の汚れが目立つ千代田地区ではクリークが多く、水の循環が悪く、集落の中では、殆どが、つまり水になり悪臭も感じる。それを、改善する為に、「公共下水道や合併浄化槽設置」の事業が行われている。そこで、合併浄化槽設置についての推進状況を尋ねる。

野口建設部長 合併浄化槽設置については、推進状況を尋ねる。

化槽の推進については、旧千代田町では、広報誌やチラシ配布で広報活動を行っていた。新市でも市報や区長会等で、PRを行っている。水質と環境保全の向上のため、区長会、婦人会等と相談しながら、モデル集落等の設定を行い、重点的な推進を図っていく。

平坦地の緑づくりの考え

議員 「緑の県土づくり方針」うるおいとやすらぎを感じる平坦地の緑づくりが策定される中、神崎市は緑が非常に少ない結果が出ている。近年、異常気象

とも言われる気温の上昇、熱中症の多発、短時間による大雨量、何時、被害が起きるかわからない状況の中、神崎市の、平坦地の緑づくりの考えは。

牟田産業部長 緑は地球温暖化の緩和、大気の浄化、といった環境的機能、自然学習やレクリエーションの場の提供といったコミュニケーション機能、避難地の確保、暴風雨時の防災機能の役割を果たして



クリークの汚れ

いる。以前より、緑の基金事業等を活用し、緑の少年団の育成、新一年生への苗木の配布、集落による植樹事業を行う等、緑化の推進に努めてきた。

緑の県土づくり方針をもとに、緑化推進協議会による検討、協議を行い、市における緑化の基本計画の作成に努める。

市長 整備ができる範囲で進めてみたい。

移動通信施設（携帯電話サービス）の充実整備について

廣 瀧 恒 明 議員

松本市長 施工の権限はNTTドコモにある。支援を受け実施の方向で取り組む。



議員 今日では一般化している携帯電話サービスは、都市部、平坦地においては普及が進み、既に一般化しているが、旧脊振八集落が未整備である。観光、産業振興、危機管理上からも、整備が必要と思うがその対策をお伺いしたい。

垣永企画部長 脊振八地区については、サービスが行き届いていない未整備地区である。

市としても国、県に要望し情報格差是正に向け、使用可能なエリアを拡大する事業を展開し要望をしていきたい。

議員 平成二十一年度要望地区として確実に実施されるよう支援して頂きたい。百十三世帯それだけの世帯が格差の是正を求めているので、強くお願いする。

市長 佐賀県の中で携帯が届かない市が、神埼と三市あるが、それを第一番目に実施してくれとお願いしている。市長会からも県、九州地区又全国と上げて行く事になっている。



豊かな脊振のやまなみ

地球温暖化防止対策と森林の保護について

議員 森林が温暖化防止に果たす役割りは非常に大きい。荒廃した森を守る対策はどのようにするかお伺いしたい。

牟田産業部長 森林吸収によるCO₂削減量は三・九％、森に対する重要性は強い。市においては森林整備計画を作成、その計画に基

づき所有者の森林に対する経営意欲を高めている。

議員 災害等で荒れた林地の放棄、伐採後地の放棄、その防止対策に全力を尽くす事をお願いする。

その他の質問
・神崎市改革プラン実施項目の進行計画と現在の進行状況について

市の施設及び道路管理義務は十分か

西 原 正 剛 議員

野口建設部長 できる限り管理等は行っていきたい。



議員 施設及び道路管理義務は、十分なのか。五月末頃右原団地にて浄化槽より汚泥流出事故があったと聞いているが原因は。

野口建設部長 築三十年以上の老朽施設また、放流ポンプも劣化が激しく両因が重なり流出したものと考えられる。

議員 月十二回の点検にて何故防げなかったのか。管理不十分ではないのか。

建設部長 今後今まで以上に委託業者よりの報告及び連絡を密に取り指導にあたりたい。

議員 産業廃棄物の流出は安易に考えず、二度と事故が起らないように厳重な指導をお願いしたい。

道路の舗装について

次に道路の管理だが、集落内外の道路の舗装状況が非常に悪い。道路管理者として、把握しているのか。またパトロールは行っているのか。

建設部長 全線は無理だができる限り定期的に行っていくたい。

高速神埼バス停の駐車場 設置のその後の検討は

八谷 努 議員

垣永企画部長 現在のところ用地提供者がおられない。今後とも駐車場確保に努力していく。



議員 高速道（小淵）近郊に駐車場設置の要望に対し、その後の進捗について。

垣永企画部長 駐車場設置の可能性について検討して来た。その一つとして、高速バス利用者アンケート等を実施して来た。その結果、利用者はもとより地区の方々の要望があることを強く感じた。現在は駐車場を造る場合、用地の提供者がお

られるのか、地区の区長を通して打診して来たが現在のところ申し出ていただいた方はない。今後も利用者の利便性のことを踏まえて、地区の関係者や地権者の方と相談を進めて、駐車場の確保に努めていきたいと考えている。

議員 通勤・通学者のJ R利用者の利便性について、又新幹線導入に伴い踏切りの安全確保について。

企画部長 J R利用者の利便性については、今日迄J Rに対し要望をして来た。利用者は現在、鳥栖駅で快速、特急に乗換えて福岡に

通っており大変不便を感じておられる。市としてもJ R本社・県に対し、通勤・通学者の利便性と併せて踏切りの安全確保について、強く要望して実現に努力していきたいと考えている。

神埼町体育祭について

議員 神埼町体育祭について。旧態依然とした内容に市民は満足していない。市民の祭りとしての行事にして、笑い楽しむものに変え



高速神埼バス停路上駐車

る考えがあるのか。
牟田社会教育課長 神埼町体育大会は、今日迄種目検討委員会（体育協会・体育指導員・陸上専門部会）に於いて種目が決定されて来た。本大会の目的は健康と体力の向上に併せて町民の親睦と融和を図ることにあると思う。今後は種目検討委員会の充実を図り、議員の指摘、市民の声を取り入れ、スポーツの祭典に努めたいと考えている。

議員 路盤の状況が悪く事故でも起これば、市の責任になる。今後道路にリンク付けでもして悪い所より復旧か新設工事にて整備してほしい。

市長 ご指摘の通り市の過失により事故等があれば市長たる私の責任だ。

今後、区長会等にて、意見を伺い前向きに検討実施していきたい。
議員 市民の皆様も、神埼市が良くなるよう



右原団地（神埼町）

に納税にも頑張っておられる。ハード事業も宜しく願いたい。最後に人的管理だが、管理職の方にお願いたい。合併後一年以上たつ中で四月の人事異動も原因の一つと思うが、本庁業務、支所業務それぞれ多少は違う事もあるが、市民の立場にたつて、より以上の市民サービスが提供出来るように指導の程宜しく願いたい。

ヤクルト工場西側の歩道について

田中敬典 議員

野口建設部長 一日も早い整備を国道事務所に
お願いする。



松永タイヤ西側の橋
梁南の歩道(橋)に
ついて

議員 旧町からの懸案
事項であり、市道取付
が国道三四号線の橋梁
そばにあるため危険を
感じているが、計画は
あるのか。

野口建設部長 現在行
われている改修工事の
実施計画に含まれてお
り、笹隈川と併せて、
平成二十一年度までに
歩道橋の改修計画があ
るので、一日も早い整
備を国道事務所にお願
いする。



狭小な歩道(松永タイヤ西側)

議員 大型車両が頻繁
に通る国道三四号線の
駅通りから市役所前ま
での間は、付近一带に
十分な歩道もなく、特
に松永タイヤ側の橋上
は側道が狭いため、
毎日通学している児童
生徒は危険にさらされ
ている。大事故が起き

農業者の暮らしについて市長の考えは

山口義文 議員

松本市長 副大臣に農家が苦しい大変な時期だとい
うことを働きかけたい。



神崎市の市民の暮らし
について

議員 農業者の暮らし
について、言葉を巧み
に並べ農家を潰すよう
な厳しい農業施策を国
が打ち出したが、どう
理解しているか。

牟田産業部長 今回の

農業改革は、戦後最大
と言われている。将来
の農家を見ていく場合
に、高齢化の進行、農
業後継者がいない、総
合的な勘案から打ち出
した施策である。

議員 佐賀県の基幹産
業は農業。今度、農林
副大臣に佐賀から二人
この人達にどれ位の力
があるのか。今の農業
の現状を腹いっぱい叩
き付けて貰いたい。

市長 今回副大臣が佐
賀から二名、現実に農
家が苦しい大変な時期
だと言っていることを働きか
けたいし、又知ってほ
しいと思う。

議員 中小企業の経営
状況を「商業」、「建設
業」を含めてどう理解
されているのか。

産業部長 大型量販店
の進出や個人消費の低
迷により、年々厳しい
状況。対策として、商
工業振興事業補助を
行っている。

議員 建設業や商業の
窮状を考えて地元業者
への発注を。

船津副市長 特に競争
性が確保できる場合は、
地元業者指名が原則と
している。地元業者の
育成は、行政としても
非常に大きな課題であ
る。今後とも地元業者
の発注を十分配慮しな
がら入札業者の指名に
ついては考えていく。

西九州大学の鳥栖・
川久保線より大学入
口までの歩道設置と
水の問題について

議員 西九州大学の、

鳥栖・川久保線より大
学入口までの、歩道と
水問題について計画は
あるのか。

野口建設部長 ここ一、
二年のうちに財源確保
して取りかかる。

その他の質問
・市の主要行事日程
と計画について
・西郷保育所につい
て



西九州大学付近の道路

てからでは遅すぎる。早急な歩道（橋）設置を望む。

建設部長 ご指摘の箇所は橋梁で他の部分より極端に狭くなっております。大型車両等への巻き込みなど重大事故も懸念されるが、現在のところは具体的な実施時期は分からないので、市として国道事務所に早急な歩道橋設置の要望をお願いしている。

老朽建物の安全対策について

議員 市役所本庁南の倉づくりの建物が相当古くなっていて、台風



本庁南の倉

の時に瓦などが飛散し通行人に怪我でもあればと心配している。市としても現状を認識し安全対策をとってほしい。

吉村総務部長 雨風の度に瓦や土壁等が崩落し心配している。この建物は個人所有なので安全面を確保するため所有者の方に現状を報告し、早急に善処方について要請を行っていきたい。

市長 以前、保存の話もあったが、財政的に厳しく所有者の方で管理していただくことが原則だと思う。

集落営農と生産現場の実態と対策について

永沼 彰議員



牟田産業部長 J Aと関係機関と共に国、県に働きかけて行く。

議員 今年より農業改革の柱である品目横断的経営安定対策が始まったが交付金等の支払いの遅さ又、經理の一元化、手続き經理事務の煩雑さ等、大変苦労されている。各々の営農組合では運営資金繰りも行き詰っている。生産現場の実態を国、県に強く理解させるべきと思うが対策をお伺いする。

牟田産業部長 集落営農組織を運営するには

各種の取り決め、又經理の一元化は必要である。特定農業団体と同様の要件を満す事が前提として交付金が支給されている。組織の運営の厳しい現状は農業改良センターや中部農林事務所又、国の農政事務所においても、市、J Aと一緒に現場に向かれており十分解っておられると思うが、神崎市としても集落営農組織のみならず、認定農業者を含む手の厳しい現状をJ Aと関係機関と共に国、県に働きかけて行く。

道路行政について

議員 千代田地区を横断している通称中央道路の県道編入に向けての考えをお伺いする。

野口建設部長 この道路は国道二六四号線又、県道八女線のバイパス的役割を果している。今日、国道を上回る程の交通量で今後さらに増加が見込まれる。県道格上げについては以前より検討され、昨年県に幹線道路の整備要望として提出してい

る。今後とも県と協議を続けて行く。

議員 県では各土木事務所単位で道路再編の検討会を設けていると聞くがその内容をお伺いする。

増岡建設管理課長 平成十七年より各担当によって協議がなされ神埼土木事務所管内は県道路線が多いので集約を図りたい。中央道路の昇格は他線との切りかえ等も含めて見直しをする話がある。



ア二一（千代田町）付近交差点

品目横断的経営安定対策は日本の農業つぶし政策そのもの。市長は政府に農政の大転換を求めよ

福田 清 道議員

松本市長 農政全体の中では、品目横断的経営安定対策は、個々の一部一部には問題はあるが、誤りとは認識していない。



品目横断的経営安定対策の問題点について

議員 この政策はアメリカを始めとした食糧輸出国と、日本の財界による日本の農業つぶしそのものである。日本の農業がつぶれ、主食の米までも外国に依存して国家の独立が保てるのか、今まさにこ

のことが問われている。そこでこの政策の具体的問題点について、いくつか質問する。まず組織運営にかかる事務量が多すぎ、一部の人への過重負担となっているのは問題である。次に、農産物価格低下の中で果たして経営が成り立つのか、法人化は急ぐべきではない。今農家の一番の要求は、生産原価に見合う価格補償、つまり再生産価格補償の実現である。市としても政府に対し、神崎市の農家の声を申し入れすべきで

ある。牟田産業部長 市としても多くの方にこの対策を理解していただくため、関係機関で組織する、神崎市担い手育成総合支援協議会の事業として、支援窓口を設け、経営相談、技術の支援、法人化支援、農地の利用調整等の相談に対応することになっている。しかし、米を始めとした農産物の価格低下には非常に危機感を抱いている。議員 市長、この品目横断的経営安定対策は、神崎市の農業の発展に役立つと思うのか。市長 私は、国の進めることにおいて、それが誤っておるとか、市にマイナスになるとか、そのような認識には立っていない。これへ協力をし、農家所得をいかに確保していくかに尽力したい。しかしコスト割れについて、すべて補填を国に要望

給食センター建設後も特色ある脊振の給食は継続すべきでは

内村 夏生議員

松本市長 継承するのも方法だと思うが、トータル的に進めたい。



議員 学校給食センター建設計画があるが、市内すべての学校を一律的に考えているのか、脊振の学校給食のような特色のあるものは合併しても継続すべきではないのか。實松教育長 現在内部



給食時間が待ちどおしい（脊振小学校）

地域審議会について

議員 合併協議により

検討委員会で研究しており、次の段階で、建設準備委員会（仮称）で協議・検討し、一定のより良い方向の形を求めて計画したい。また、脊振の歴史的な価値を十分反映させるよう協議していききたい。

市長 当然継承していくのは一つの方法だと思うが、色々な面から調査・検討し、トータル的に進めていきたい。

設置された旧町村単位での地域審議会については、行財政改革や総合計画など、市の将来がかかっている大事な時期であり、市民の意見を反映させるためにはもっと開催すべきではないのか。

垣永企画部長 市のまちづくりを進めていく上で重要な事項については地域審議会を開催し、その意見を反映させていきたい。

市長 市としての一定の方向性や諮問する重要事項が出てきたら、

することにはどうだろうかという気がする。
議員 今までに米、麦、大豆で、国のいう通り大規模化し、儲かっている農家が神崎市に何人いるのか事例を出してみよ。今年から小麦の販売代金は、まだ一円も農家には入金され

ていない。例年概算金が入り、これを諸支払いに当てていた。今大規模専業農家ほど生活が厳しくなっている。市としても交付金の早急な交付を国に求めるべきである。また、主食である米の生産費補償は国際的な常識であ

る。農業が基幹産業の神崎市の市長として、あなたの考えは問題であるといわざるを得ない。
市長 交付金については、早急に支給するよう要望する。

地域審議会を開催し意見を聞き進めたい。
幹線道路の整備について
議員 主要地方道三瀬神崎線の改良計画はどうなっているか。また交通危険区域、特に仁

比山・政所区間は早急に整備をすべきではないか。
野口建設部長 改良計画は計画的に進めている。交通危険区域については事業実現に向けて努力したい。
市長 これまでも県に強く要望してきた。県

もこの地区状況は十分承知しているので、これからも更に強く要望し、実現に向け努力していきたい。

農業安定対策事業は農業 衰退への道では

山田 一 明議員

牟田産業部長 十分精査して県等に要望や意見を言っていきたい。



議員 品目横断的経営安定対策は欠陥政策だと思いが。
牟田産業部長 努力し

た人が損をしていくと言ふふうな事だが、矛盾点というか、我々が手引きを見ていると今迄の農業所得より今後の所得が上がるということでも試算がされているので、逆にそっちの方がだまされているかなと思うことがあり、

そついった点は十分精査して県等に要望なり政策変更等を意見として言っていきたいと思

議員 担い手集落営農

組合未加入農家対策は

産業部長 市内九十五

戸農家と六十haの面積となる。今後の水田農業の確立と耕作放棄地が増えない様にするた

めに明確化した担い手への利用権設定、受委託契約を促進し、担い

手への農地集積を促進して担い手育成と農地保全を図っていきたいと考えている。

馬場川改修工事の進捗状況について

議員 馬場川改修工事進捗状況と今後の計画は。

野口建設部長 補助事

議員 安定対策事業内容を精査して県・国への要望を。
市長 制度の矛盾点、今の農政の中で受け入れられないもの、誤っているとは言わないが、そついった事については国へ要望事項として修正をして頂けるならば申し上げていきたい。

業と県単独事業の二種類によって進められている。補助事業については、田手川合流点から小桜保育園上流迄の区間、十八年度事業費ベースでの進捗は約八十%と聞いている。
議員 石井ヶ里右原地区改修状況は。



一級河川・馬場川

建設部長 現在行われているのは石井ヶ里地区の一部で、十八年度事業で繰越事業の形で行われている。上流改修進捗を早期にと土木事務所へお願いをしている。

江見手水門の自家発電の設置を

片江 護 議員

松本市長 国土交通省に最新式の施設に換えて
いただくよう要望する。



防犯灯の設置を

議員 合併一周年記念講演で、新市の発展の基本は、合併周辺地域の地域振興を大切にすることを合併の基本であるという話を聞き、それを基に今回は質問する。今年の夏は、高校生、高校野球と高校生の活躍の光る夏であった。特に高校生の一人一役は私達にすばらしい感動を与えてくれた。活躍した選手を

賞讃する事も大切だが、高校生の通る通学路の安全対策として防犯灯の設置が必要ではないか。

吉村総務部長 特に中学生の通る通学路については、今計画をしている。高校生の通う町村間の通学路、特に国営千代田線については、神崎から江見線までは今年計画概要の中で示したいと思っている。

江見手水門の自家発電について

議員 神崎市の排水対策に重要な役割を果たしている水門として黒津、中津、迎島江見手と三



江見手の水門

つの水門がある。その中の江見手水門には発電機装置がついていない事で台風、大雨の時に停電した場合、水門の機能に支障を来たす。早急に発電機の設置をお願いしたい。

市長 水門については、豪雨、台風、高潮と緊急的に水門の開閉をして水位の調整を図り、

特に災害時には密に調整され、地域防災に貢献している重要な施設であるので、国土交通省に最新式の施設に換えていただくよう強くお願いする。

介護保険における地域支援事業について

佐藤 知 美 議員

実松福祉部長 介護保険改正にともないこの四月から七月末まで、十五件の介護相談があった。



議員 昨年四月の介護保険法の改悪により、保険料の引き上げ、施設入所者の食事費や居住費の自己負担、軽度と判断された人達の車椅子や介護ベッドの取り上げなど介護予防や自立支援とは逆のことがなされているが、介護保険に対する苦情、相談の内容と対応状況はどのようになっていくか。

実松福祉部長 介護保

険改正にともない、認定区分の見直しにより、状態の変化がないにもかかわらず、要介護一から要支援に変更になったなども含め、この四月から七月末まで十五件の介護相談があった。

議員 保険法の改悪で自己負担の増額による介護サービスを中止したり、受けることができなくなったなどの相談はなかったか。

重松高齢障害課長 自己負担増によるサービス中止などの相談はあっていない。

議員 地域支援事業で認知症や寝たきりにな

市民にとって合併一年間の 行政はどうだったか

原 信義 議員

垣永企画部長 就学前の医療費の助成等が市民
全域に助成できるようになった。



違法のサービス(ただ働き) 残業をなくせ!

議員 これから先の神
崎市政を進めるに当た
り、この一年間を振り
返る必要がある。市民
への行政サービスは向
上したか。
垣永企画部長 神崎市
となって就学前の医療
費の助成等が市民全域
に助成できるようにな
ったことなど数多く
あり、これからも住民

福祉、サービス向上に
努めていきたい。

市職員の労働条件の
改善について

議員 市民奉仕の公務
労働を担う市職員が健
康でいきいきと働くに
は労働条件の改善が必
要。第一はサービス残
業をなくさなければな
らない。ある支所の職
員五名の七月分の超過
勤務(残業)状況を抽
出してみると別表一の
とおりである。職員を
タダ働きさせるサービ
ス残業は違法行為であ
り犯罪になる。急いで
改めなければならぬ。
吉村総務部長 時間外

別表(一) A支所 7月分

氏名	勤務 日数	時間外 勤務日	退庁までの 時間累計	勤務命令の 時間累計	(支払)	(未払)
A	21	9	60時25分	31時15分	51.6%	48.4%
B	21	16	76時19分	47時00分	61.8%	38.2%
C	21	8	62時54分	31時15分	49.2%	50.8%
D	21	1	11時07分	3時45分	34.0%	66.0%
E	21	5	21時15分	15時15分	71.4%	38.6%

勤務は勤務命令をした
対価の支給で、命令し
た勤務はすべて支給し
ている。
議員 命令以外のサー
ビス残業に賃金を支払
わなくてよいという法
律はあるか。
市長 そういう法の規
定はない。
議員 ならば何故賃金
を支給しないのか。時
間外労働を必要としな
いならば職員を何故、
帰宅させないのか。厚
生労働省は通達で、使
用者は職員の勤務の始
業と終業を記録しサー
ビス残業(不払い労働)
を根絶するよう指導し
ている。

別表(二)

病気休暇の状況 (平成19年度)

所 属	職 名	日数	備 考
千代田	課長	15	
脊振	副課長	121	
脊振	主 査	47	
千代田	課長	69	
本 本	庁 課長	28	
本 本	庁 調理員	76	
本 本	庁 部 長	9	
本 本	庁 主 査	31	
本 本	庁 主 査	7	
計	9人	403	

総務部長 今後、業務
管理を十分徹底させた
い。

市長 私はサービス残
業はしなくていい、労
働の対価は支払うべき
だと認識している。管
理者は業務を管理し、
仕事を遂行させなくて
はならない。
議員 職員の健康管理
と年次有給休暇の消化
は関係があり重要であ
る。職員の病気も増え
ている。私は市民奉仕
の仕事遂行には、市職
員の心身ともに健康管
理が必要と思う。
総務部長 病気休暇は
確かに増えている。職
員の健康維持管理を十
分配慮させていただき
たい。

る可能性がある人(特
定高齢者)を市が直接
把握する事業が進めら
れているが、中部広域
連合ではその出現率を
四%と見ているがどの
ように推計しているの
か。
福祉部長 本年度につ
いては五%を若干上
回った三百九十六名程
度と考えている。

人が三百九十六名もお
られる、この方々が寝
たきりにならない地域
支援事業が望まれるが
市長の考えは。
市長 三年ごとに介護
制度が変わり現場も戸
惑うこともあるが、制
度の仕組みの中で介護
に携わる職員の充実が
当然必要と思っている。
また住民の方々も健
康に対する強い意識を
持つてもらうとともに、
健康予防にも力を入れ
ていきたい。



コスモス園(千代田町)

迷惑条例の制定を

木原 けんじ 議員

中野市民部長 生活環境の保全に関する総合的な条例の中で取組んでいきたい。



議員 色々な条例の中でも特に飼い犬（猫）のフン害の防止、また自転車等の放置防止に関する条例の制定を早急に望む。今や個人のマナーやモラルの問題を逸脱して、自分達の住んでいる地域の「生活環境保全にかかる問題」との認識からその解決策は「皆で取組んでいかなければならない」という理念が常識化している。しかし条例の制定がなければ、指導権限もなく、環境

パトロールをすることは危険でトラブルの元になる。市条例のバックアップ、後ろ盾がなければ注意を促す事もできない。都市の美観を維持するとともに、市民の良好な生活環境の維持、確保及び平穏を確保する為にも条例制定が必要だと思いが、**中野市民部長** 神崎市民の、安全でかつ快適な生活環境の確保に必要な事項として、緑豊かな保全、美しい保全、住みよい保全、推進体制の整備等、生活環境の保全に関する条例という事で、総合的な条例の中で取組んでいきたい。

議員 啓発のチラシ配

前年度主要施策の反映は

宮島 清 議員

吉村総務部長 今後は評価をもとに、次年度予算に反映していくのが重要かと思う。



主要施策の成果について

議員 前年度の主要施策の成果報告書を見て事業の概要・目的・成果・財源と分かれているが事業の効果や反省が全く無い。検証や載が無く無い。検証や検討はどうしているか、次年度施策に対してどう反映しているのか？

吉村総務部長 施策の成果検証は必要であるかと思う。現在は市長へ

の業務報告や資料作成時に行っているが、今後は評価をもとに、次年度予算に反映していくのが重要かと思う。

議員 市が実施するハード、ソフト事業や行事イベント又は、各種補助金や交付金等マナー化して恒常的になっているものを検証していくべきでは。

市長 今日迄の流れと言うものの検証をやらなきゃならない、新しい市に合併して今までやってきた事、これからやるものをもっと検討、研究しなければと今思っている。

生涯学習における読書について

議員 市長は日頃から神崎市の歴史や文化を語る中で吉田絃二郎や下村湖人を例に挙げています。県内の市で唯一図書館が無い神崎市であるが読書意欲は県内でも有数である。今後市の図書室の整備はどの様に考えているか。

市長 精神文化や知的文化を進めるために図書館は必要と思う。過程の対策として図書室



神崎清明高校校門前

市民特別表彰について

議員 高校総体で優勝した神崎清明高校や特別な偉業や功労があった時は市長自らの判断で即、対応して称えるべきでは。

市長 市の表彰規定はあるが指摘のように市長の権限でやる事に支障は無いと思う。

布、市報による啓発等行われてはいるが、是非啓発の看板や標識板等を設置していただきたい。

電子入札制度について

議員 現在の方式では時間が拘束されるだけでなく、交通費、人件費などの費用の面においても受注者にとって利便性が非常に低く、また発注者、受注者共に大幅な時間が手続に必要である。こうしたことからより効率的で透明性、公正性が確保される為多くの自治体で電子入札が実施されるようになったが、本市において導入を考へ検討しておられるのか。

性の確保、公正な競争の促進、談合その他不正行為の排除等を明確にする県内都市入札契約適正化方策について調整が行われている。その中において電子入札についても研究がなされているがまだ調査研究の途中で結論が出されてない。引き続き検討されていくと思っている。



本堀地区

観光行政の推進についての施策は

志岐 悟 議員

松本市長 当市の特性と特徴を打ち出し、今検討させている。



議員 民間との協力による観光行政は、我が市の場合、他の都市と比べて、観光の目玉が非常に多いすばらしいところだ。観光行政は単に自治体のみ力で推進できるものではない。観光には必ず観光行政が伴うので、民間の協力と力をどう結集し得るかが重要である。市政執行方針に基づく具体的なプランを明らかにし、市民が望んでいる観光行政に積極的

に取り組み、市民の憩いの場、さらには、子供の夢がふくらむ施策が必要と思うが。
市長 財政が厳しいときに、歳入を凶らなければならぬという御指摘かと思う。企業の誘致も必要であり、観光を興しての誘客も必要である。いろいろ踏まえながら総合計画を進めている。神崎市の特性と特徴を打ち出し、今検討させている。
議員 仁比山地区から脊振地区にかける観光推進計画と道路は。
野口建設部長 道路は平成十五年旧神崎町長、脊振村長の連名で県に要望し、十八年六月地

権者等の調査を市に依頼、現在地権者関係の調査を行っている。非常に交通量も多く、緊急度合も高いので、先日にも県に要望した。

観光推進計画と道路は

議員 城原川ダムの予定地は、巨大な花崗岩が河床に転がる狭窄した美しい脊振溪谷の出口である。この城原川の出口付近は、日本の治水に重要な意味を持つ空間である。見下ろす丘の上には聖武天皇

の勅命によって行基菩薩が開いた護国寺の跡に、仁比山神社が建っている。

行基菩薩ゆかりの信仰を示す八大竜王の文字を刻む大岩が位置し流れを分水し、馬場川、城原川へ流れて、横に白角折神社がある。江戸時代の初期に活躍した成富兵庫茂安の治水事業三千石井堰がある。これはまさに世界遺産に匹敵でこれを観光資源に。
市長 世界遺産になるかは分かりかねるが、確かに歴史のある場所と思う。



仁比山公園の愛逢橋（神埼町）

我が神崎市は文化財の宝庫、貴重な史跡で市おこしを図ろう

内田 良 治議員

實松教育長 吉野ヶ里遺跡を活用した市おこしを考えたい。



議員 神崎市は行財政改革、企業誘致や住宅行政で活路を見い出す事もできる。又九重町は山間過疎の町であるが「天空の散歩道」と名づけられた吊り橋で数多くの観光客を迎え活性化した。我が神崎市は弥生時代から現代の九年庵まで史跡の宝庫で屋根のない博物館と言われている。これらの文化財を生かして市の活性化を図れない

のか。まず邪馬台国は

近畿説と九州説があるが中国の歴史書の魏志倭人伝の記述では朝鮮半島より一万二千余里が女王卑弥呼の都する所で距離的に符合するし、又女王は宮室、楼観、城柵を厳そかに設けたという点も一致する。又近くに卑弥呼時代の古墳も存在する。

吉野ヶ里又はそこから見えるぐらいの所が邪馬台国だと思う。卑弥呼の里のキーワードで観光客の誘致ができないのか。

教育長 神崎市一帯が邪馬台国の中心と断定するにはまだ困難な部



吉野ヶ里公園でのバルーン大会

分があるが邪馬台国を構成する国であると考えられるので吉野ヶ里遺跡を活用した市おこしを考えたい。

議員 神崎町竹原に王仁神社があり王仁博士は応神天皇時代日本に論語と千字文を伝えた学問の創始者だ。こういう史実を生かした市おこしを図れないのか。

教育長 史実が今の時点ではつきりしないが、学問の祖としての教育活動に生かしたい。

議員 全国的にも珍しい中世の山城、勢福寺城で市おこしは図れないのか。

教育長 肥前の国の政治軍事の拠点である城跡で城主、家臣団の屋敷群、市場、城下町を持つ広大な城跡で国指定による保存、活用をしたい。

議員 本市は文化財に満ち溢れている。松本市長の構想は。

市長 学術的にも非常に貴重な史跡、遺跡が豊富にある神崎市。日本の歴史の勉強を宿泊しながらできるような地域、特別区域みたいな国の指定を受ければ、相当の経済効果も出ると思う。

ふるさと夏祭りは職員に対して動員の要請や命令があったのか

田原 和 幸議員

吉村総務部長 市民と一緒に祭りに参加しては、住民の立場で参加して戴ければ、という気持ちでいっぱいである。



議員 ふるさと夏祭りとして、長崎街道神崎宿場祭り、堀デーちよだ、脊振村わんぱく祭等が実行委員会運営の下で開催されたが、今後の方向性、歴史を重ねるか、統合か、リニューアルか、各実行委員会、又、全体的協議を本年度の成果の上に立って行うべきだ。先ず参加数、宿場祭り

九千人、脊振三千人、堀デー五百人。補助金宿場五十万、脊振七十万、堀デー百万。もう一つ、職員の動員、動員というのは仕事かボランティアか、要は出勤要請や命令があったのか、命令者は誰か、神崎ゼロ、千代田七十三名、脊振二十八名、堀デーの場合集まった人の半分が競技参加者で二百四十九名だが動員職員もこの中に入っているのか。

牟田産業部長 実行委員会から市に対し、これだけの職員をと要請

行財政改革大綱答申の進捗状況は

角田 晴 義議員

垣永企画部長 平成十九年度は実施予定の二十九項目中十七項目実施。



議員 行財政改革大綱について、三月二十九日行財政改革推進委員会の内川宏美会長より松本市長に答申がされた。内容をみてみると改革プラン実施項目は三十七項目、答申後、半年を過ぎた今日、十九年度実施予定の二十九項目の進捗状況はどのようなになっているのか。

垣永企画部長 平成十九年度上半期においては十九年度実施予定の

二十九項目中、現在十七項目を実施に当たっている段階。この後、当然市民の理解を得なければ行革は進まない。今後十九年度下半期を踏まえ、平成二十年度から二十三年度までの改革期間において実施していきたいと考えている。

本年度の吉野ヶ里菜の花マーチの開催について

議員 歴史ある菜の花マーチは本年度は廃止と仄聞しているが、否か。

牟田産業部長 六月四日の吉野ヶ里菜の花

マーチについて会議が開催され佐賀県は初期の目的は達成されたので主催者としては開催しないと表明。ウォーキング協会等を中心に実施を要望したが、県は地元主催での開催を願われた。

議員 県は初期の目的は達成したから主催者から引くということであるが、この祭りは県外からも多くの人が参加していた。神崎市の農畜林産物、商工業、観光の宣伝になっている。また市民がボランティアとしてご協力いただいていることも忘れてはならない。

産業部長 佐賀市も、

佐賀県が外れるのであれば抜けると意思表示をなされた。残った行政組織、団体、マスコミ等で協議を重ねているが規模を縮小してでも実施できないか、検討を重ねている。

市長 関係団体とどこまでできるのか検討を続けていきたい。

その他の質問

- ・ 職員の地区担当制について
- ・ 職員の給与に関する条例第三十条第五項について
- ・ 米の消費拡大について



行革委員会答申を提出

があった。宿場祭りは要請がなく来場職員はあくまで祭りを楽しみに来ている。堀デーの七十三名と、わんぱく祭の二十八名は仕事上で祭りに参加している、そう御理解を戴きたい。堀デーについては従事者として要請がなされている。全部は競技者になっていないが地区のチームに出た職員、又、市のチームとして参加した者もいるので一部の方はグブブッといえる。

元気神埼交流祭について

議員 今度の補正予算で、合併一周年元気神

崎市民交流祭の実行委員会に対し、六百万の補助金が組んであるが、委員会の実態、会のメンバーあるいは、イベントの選定のプロセスを問うが、構想を練っている時点から市民の参画が必要だったので。



かんだき宿場祭りパレード